



秋の全国交通安全運動

毎年恒例の、秋の全国交通安全運動が始まります。



南国警察署管内でも各種交通安全行事や取締りの強化などを実施し、交通安全意識の向上に取り組みます。
ドライバーも歩行者も、一人一人が気をつけて事故を起こさず、事故に遭わないように交通安全意識を高めて行動しましょう。

▼秋の全国交通安全運動

■期間

9月21日(火)～30日(木)

■運動の重点

- ①子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
- ②夕暮れ時と夜間の事故防止と歩行者等の保護など安全運転意識の向上
- ③自転車の安全確保と交通ルール遵守の徹底
- ④飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶

(南国警察署 香南警察庁舎 55-0110 交通安全協会 香南支部 54-0303)

台風災害等に備えましょう

台風等の自然災害は、一人一人の心掛けと行動により、被害を防止・軽減することが可能です。日ごろから台風に関する知識を持ち、台風発生時にはテレビやラジオで正しい情報を確認し、適切な行動が取れるようにしておきましょう。

■避難するときは…

避難中の火災や盗難防止のため、火元の点検と戸締まりを確実にしましょう。慌てずに警察官や消防士等の指示に従って行動しましょう。また、市町村等の情報や指示等が間に合わない時もあるので、家族や自分

の身に危険が迫ったら、荷物等にこだわらず身の安全を第一に考え、素早く避難しましょう。

▼災害5段階警戒レベル

- レベル5/緊急安全確保(命の危険！直ちに安全確保！)
- レベル4/避難指示(危険な場所から全員避難)
- レベル3/高齢者等避難(危険な場所から高齢者等避難)
- レベル2/大雨洪水高潮等注意報(自らの避難行動を確認)
- レベル1/早期注意情報(災害への心構えを高める)

■問い合わせ

(香南地区地域安全協議会 域安全アドバイザー 長田麻紀 55-0110)

市のうごき (R3.7.31現在) ()は昨年同月対比

■人口/33,125人 (男/16,062人 女/17,063人)	7月の火災・救急出動件数
■世帯/15,231戸	■火災 0件 [1件減]
■出生/11人	■死亡/36人
■転入/129人	■転出/82人
■対前月人口比/22人増	■救急 149件 [23件増]

香南市では 終活をサポートしています

終活サポート事業

【事業目的】

一人暮らしなどの理由により、自身の葬儀・納骨や延命治療、終末期医療についての意思表示などに不安を持っている高齢者の方々を支援します。

【対象者】

香南市に在住する一人暮らしの高齢者など(高齢夫婦、兄弟姉妹なども含む) ※別居家族の有無、収入・資産は関係ありません

【相談窓口】:香南市地域包括支援センター ☎57-8511



終活サポート事業内容

■終活計画の作成支援

・自らの終活計画の作成について、相談・助言を行うとともに、必要に応じ関係機関と連携し、本人の希望を実現するための支援を行う。



■葬儀・納骨・遺品整理などに関する相談

・自らの葬儀や納骨について相談できる市内の協力事業所をご紹介します。ご希望により、質素な火葬・納骨プランなど、相談者の意向に沿ったプランを提案してもらおう。

・自らの死後の遺品整理など、死後事務委任契約を希望する場合、司法書士や行政書士などの法律専門家から連絡いただけるよう調整する。

■延命治療の意思表示および終末期医療等に関する要望について

・身寄りのない高齢者等が、自らの延命治療の意思表示および終末期医療等に関する要望について記載し、その要望書をご希望により香南市および葬祭事業者が保管し、医療機関等の関係機関からの緊急照会に対し、速やかに内容を伝える。

成年後見制度の中核機関を設置しました

成年後見制度とは

認知症や障がいなどの理由で判断能力が不十分な方に対し、家庭裁判へ申立てをして、本人のために財産の管理や福祉サービスの契約などの支援を行う「成年後見人」などを選任してもらう制度です。

中核機関とは

香南市における成年後見制度の利用促進を行う地域の拠点(中核機関)として、支援が必要な方を適切な制度や機関に繋ぐ役割を果たします。

成年後見制度を利用したい…

成年後見制度について知りたい…

成年後見人になってくれる人を探している…

こんな方はご相談ください!



■問い合わせ / 地域包括支援センター ☎57-8511 福祉事務所 ☎57-8509

※香南市にゆかりのある方に、「コラム」を書いてもらっコーナーです

て見よう。火の粉が飛んできて火傷するくらいで丁度いい。そして飛行機に乗って旅行に行こう。北か南か：南の島にしよう！エメラルドグリーンの海と真っ青な空が広がって浜辺で波音を聴きながらリゾート気分になる。水着のためにながら、引き続き感染対策策りなく静かに日々を過ごして行こう。楽しい未来のために。 アラカン

もうすぐ晴れるかな

場などが大きな被害に見舞われ、気の毒でならない。 そんな暗い日々にも少し明るさを感じられたのが「東京オリンピック」。開催については賛否あったものの、いざ始まってみればテレビ中継を見て「頑張れ日本!!」。自国開催なので時差なく様々な競技の中継が一日中放送され、選手の活躍や心温まるシーンも数々見られ

た。チャンネルを変えまくって競泳に万歳し、陸上へのけぞり、柔道に力こぶしを握り、サッカーにも泣き、ソフトボールと野球に拍手喝采！と大忙しだった。あつという間に大会は終わってしまったが、少しの間選手やボランティアの皆さんに頭上を覆う雲を取っ払って

もらったような気がした。そして私は考えた！「よし！前向きに未来を想像しよう！」。コロナが収束し、いつもの日常を取り戻した時には、まず友人と大宴会！飲めや歌えや箸けんでも皿踊りでもやってみよう。次に、お祭りに行こう！イカ焼きにタコ焼きに牛串に生ビールときたら、ドカーンと打ちあがる花火を寝っ転がっ